

JAL* プロジェクト

海外日本美術資料専門家（司書）の招へい・研修・交流事業**

2014 募集要項

* Japanese - art librarian

** 『平成 26 年度文化庁地域と協働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業』

この度は、JAL プロジェクト「海外日本美術資料専門家（司書）の招へい・研修・交流事業 2014」にご関心をお持ちいただき、ありがとうございます。以下の内容をご確認の上、ぜひ参加をご検討ください。

本プロジェクトへの参加を希望する方は、必要書類一式を電子メール(PDF 貼付)で本プロジェクト実行委員会（東京国立近代美術館内）へご提出ください。2014 年 8 月 31 日(日)必着です。書類は電子メールのみの受付となります。

本プロジェクトに関する質問、及び申込書類の宛先は以下のとおりです。

海外日本美術資料専門家（司書）の招へい・研修・交流事業実行委員会

E-mail: jal2014plus@momat.go.jp

URL: <http://www.momat.go.jp/art-library/JAL/JAL2014.html>

〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園 3-1

東京国立近代美術館アートライブラリ

Tel : (03)3214-2606

Fax : (03)3214-2576

1. JAL プロジェクト「海外日本美術資料専門家（司書）の招へい・研修・交流事業」

とは(概要) — WHAT IS JAL Project?

日本国外で日本美術の資料を扱うことを専門とする図書館員（Japanese-art librarian: librarian specializing in Japanese art）を招き、本実行委員会の構成機関である在京の東京国立近代美術館、国立西洋美術館、国立新美術館、東京文化財研究所と国立国会図書館、国立情報学研究所および京都の国際日本文化研究センター、奈良国立博物館において日本美術資料ならびに関連情報提供サービスについての研修に参加していただきます。

選考で選ばれた参加者には、2014 年 12 月 1 日から 11 日までの日程で上記機関における研修ならびに最終日に開催する公開ワークショップにおいて「日本美術の資料に関わる情報発信力の向上のための提言」をプレゼンテーションしていただきます。

本プロジェクトにおいては、日本美術の範囲には写真・映像・マンガ・デザイン・建築等の視覚芸術全般を含み、これらに関わる視覚資料の扱いを専らとする図書館員ならびにアーキビスト、ヴィジュアル・リソース・キュレーター等も招へいの候補者に含まれるものといたします。

応募資格や応募方法の詳細は、必ず以下の項目でご確認ください。

2. JAL プロジェクト「海外日本美術資料専門家（司書）の招へい・研修・交流事業」

の目的 — WHY JAL Project?

本プロジェクトの目的は、東京国立近代美術館、国立西洋美術館、国立新美術館ならびに東京文化財研究所が今日行っている所蔵美術文献の提供およびライブラリサービスならびに書誌情報の発信が、有効かつ効果的に海外美術関係機関、研究者に伝達されているかを検証するために、海外において実地に日本美術資料を扱う専門家（司書）を招へいし、日本の現況の知悉理解を促す研修を実施するとともに、広く日本側関係者とも交流して、その上で日本の美術図書館が海外からの更なるニーズの開拓を果たすための課題を明確にすることにあります。

この課題解決は同時に国内美術研究者への情報サービスの向上にも直結するものであると考えています。

3. 招へい者対象 — WHO IS ELIGIBLE FOR JAL Project?

日本国外で日本美術の資料を扱うことを専門とする図書館員（Japanese-art librarian: librarian specializing in Japanese art）を主たる対象にいたします。

本プロジェクトにおいては、日本美術の範囲には写真・映像・マンガ・デザイン・建築等の視覚芸術全般を含み、図書館員に加え、日本に関わる視覚資料の扱いを専らとするアーキビスト、ヴィジュアル・リソース・キュレータ等も招へいの候補者に含まれるものといたします。

(1) 応募資格

①以下のいずれかに該当する者。

- a) 日本国外において上記の日本美術の範囲に関わる文献および視覚資料の扱いを専らとする図書館員。
- b) 日本国外において上記の日本美術の範囲に関わる文献および視覚資料の扱いを専らとするアーキビスト、ヴィジュアル・リソース・キュレータ。
- c) 日本国外において上記の日本美術の範囲に関わる文献および視覚資料を用いて日本研究に従事している者。

②日本語による議論が可能な語学力を有する者。

特に日本語での日常会話ができ、日本語での電子メールでの連絡ならびにワードプロセッサおよびプレゼンテーション・ツールの操作が可能であること。

③所属機関からの推薦を受けた者。

<注>上記の応募資格に該当する者であっても、日本に在住する者及びプログラムで日本に滞在中の者の応募は不可とする。

(2) 応募人数

5名程度

4. JAL プロジェクト「海外日本美術資料専門家（司書）の招へい・研修・交流事業」

の内容 — JAL Project

本プロジェクトは、すべて日本語で行います。言語に関するサポートはございません。

(1) 概要

①日本美術資料に関わる主要美術図書館・研究所の見学および当該機関所属研究員等による解説等の受講

研修先機関（予定）

■東京

- ・東京国立近代美術館アートライブラリ
- ・国立新美術館アートライブラリー
- ・国立西洋美術館研究資料室
- ・東京文化財研究所企画情報部
- ・東京国立博物館資料館
- ・国立情報学研究所
- ・国立国会図書館

■京都

- ・国際日本文化研究センター

■奈良

- ・奈良国立博物館

②公開ワークショップ

本プロジェクト最終日の12月11日（木）は、公開のワークショップを開催し、招へい者が研修期間における知見を踏まえ、「日本美術の資料に関わる情報発信力の向上のための提言」をプレゼンテーションしていただきます。

プレゼンテーションについては、図書館員の国際交流について豊かな経験を持つ有識者によるコメントをいただくとともに日本国内の美術図書館員等関係者との意見交換の場といたします。

(2) 日程

2014年11月30日(日)～12月12日(金)

11月30日		日	参加者来日
12月1日	1日目	月	ガイダンスおよび東京国立近代美術館アートライブラリにて研修
12月2日	2日目	火	ガイダンスおよび国立新美術館アートライブラリーにて研修
12月3日	3日目	水	国立西洋美術館、東京国立博物館、東京文化財研究所にて研修
12月4日	4日目	木	国立情報学研究所、国立国会図書館を視察研修
12月5日	5日目	金	京都へ移動、国際日本文化研究センターを視察研修
12月6日	6日目	土	京都市内美術関係機関等を視察 以後、自由行動
12月7日	7日目	日	自由行動 以後、奈良へ移動、奈良国立博物館見学
12月8日	8日目	月	奈良国立博物館仏教美術資料研究センターにて研修 以後、東京へ移動
12月9日	9日目	火	都内美術関係機関等視察および 東京国立近代美術館にて研修・最終日プレゼンテーションの準備
12月10日	10日目	水	都内美術関係機関等視察および 東京国立近代美術館にて研修・最終日プレゼンテーションの準備
12月11日	11日目	木	「日本美術の資料に関わる情報発信力の向上のための提言」 公開ワークショップ 於、東京国立近代美術館講堂
12月12日		金	参加者離日

*研修及び視察は予定であり、若干の変更を行う場合があります。

*プレゼンテーションの準備は、パソコン(OSは日本語版 Windows)を利用できます。準備は東京国立近代美術館において行っていただきます。

5. 費用 — TERMS & CONDITIONS

(1)往復の飛行機代を支給します。

エコノミークラス、最短距離限定。(上限は地域により異なります。)

(2)滞在中の宿泊費 (全日朝食付き 11 泊分を給します。)

宿泊先は実行委員会が指定・予約いたします。それ以外の宿泊はご遠慮下さい。

(3)滞在中の交通費

- ・成田と都内との往復交通費
- ・関西研修地 (京都および奈良) と都内との往復交通費

(4)その他

- ・2014年11月30日から12月12日までの日当
- ・滞在中の海外旅行保険
- ・ワークショップ講師ならびに後日刊行の報告書原稿執筆についての謝金

*経費についての詳細は選考後にお知らせいたします。

6. 申込方法 — METHOD OF APPLICATION

(1)申込期限・申込先

本プロジェクトへの参加を希望する方は、必要書類一式を電子メールにて下記アドレスへご提出ください。2014年8月31(日)必着とします。書類は電子メールのみの受付となります。

<提出先 (事務局) >

海外日本美術資料専門家 (司書) の招へい・研修・交流事業実行委員会

E-mail: jal2014plus@momat.go.jp

URL: <http://www.momat.go.jp/art-library/JAL/JAL2014.html>

〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園 3-1

東京国立近代美術館アートライブラリ

Tel : (03)3214-2606

Fax : (03)3214-2576

(2)必要提出書類

①応募者が提出する書類

*下記 a と b は同一メールで送られることが望ましい。

a 申込書 (すべて記入し、日付及び署名を明記のこと)

1. 以下の URL から定型書式 (Excel/PDF ファイル) をダウンロードする。

<http://www.momat.go.jp/art-library/JAL/JAL2014.html>

2. Excel/PDF ファイルをプリントアウトする。
3. 2.のプリントアウトに署名を明記し、スキャンして PDF 化して電子メールに貼付して上記アドレスへ送信する。
4. 電子メールの件名は “JAL2014 [姓, 名]” として上記アドレスへ送信する。

b 日本語能力を証明する書類

1. 日本語能力試験等の証明書のコピー
もしくは
日本語教師もしくは所属する機関からの日本語能力に関する推薦状
2. 1.の証明書もしくは推薦状をスキャンして PDF 化して電子メールに貼付して上記アドレ

スへ送信する。

3. 電子メールの件名は“JAL2014 [姓, 名]”として上記アドレスへ送信する。

②推薦者が提出する資料

応募者の所属する機関からの推薦状

1. 以下の URL から定型書式 (Excel/PDF ファイル) をダウンロードする。
<http://www.momat.go.jp/art-library/JAL/JAL2014.html>
2. Excel/PDF ファイルをプリントアウトする。
3. 2.のプリントアウトに署名を明記し、スキャンして PDF 化して電子メールに貼付して上記アドレスへ申込書と同様に貼付して送信する。
4. 電子メールの件名は“JAL2014 [応募者姓, 名]”として上記アドレスへ送信する。

7. 選考 — SELECTION

(1)選考方針

提出された書類をもとに、日本での本プロジェクト参加の必要性、業務・調査の業績及び内容、将来性、日本語能力等を総合的に考慮し、選考委員会で採否を決定します。

(2)選考スケジュール

申込み期限： 2014年8月31日(日)

選考結果通知： 2014年9月中旬

8. その他 — MISCELLANEOUS

(1)個人情報、本プロジェクトに関する業務にのみ利用し、他の目的には一切利用いたしません。

(2)提出された書類一式は、一切返却いたしません。

(3)選考理由についてのお問い合わせには回答いたしません。

(4)問い合わせ先

本プロジェクトに関する質問、及び申込書類の宛先は以下のとおりです。

海外日本美術資料専門家(司書)の招へい・研修・交流事業実行委員会

E-mail: jal2014plus@momat.go.jp

URL: <http://www.momat.go.jp/art-library/JAL/JAL2014.html>

〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園 3-1

東京国立近代美術館アートライブラリ

Tel : (03)3214-2606

Fax : (03)3214-2576